

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

「三年とうげ」 李 錦玉 作

前半の部分に、何がどのように書かれているかを読み取る。

① はじまり

〈何が〉

〈どのように書かれているか〉

三年とうげ全体
が分かる絵

春 すみれ
たんぽぽ
ふでりんどう
れんげつつじ
かえで
がまずみ
ぬるでの葉
すすき

秋

- 物語がくり広げられる「場」。(時・場所・人物など)のしようかい。
- 美しいとうげのけしきを表す言葉。

場所 「三年とうげ」

② 出来事(事件)が起きる。

〈何が〉

〈どのように書かれているか〉

おじいさんが、
転んでいる絵

顔 真っ青
動作 立ち上がる
足を急がせた。
たがたふるえる。
おいおいなく。

おじいさんの様子
まわりの人の様子

ごはんも食べ…
医者を呼ぶやら、
…やら…しました。

- 中心人物がこまることやしぎなこと、意外なことなどが起きること
- 人物の気持ちを表す言葉。
立つ上がる
立ち上がる

時 「ある秋の日」

だれが 「おじいさんが」

出来事 「転んでしまい、病気になる。」
なぜ 「石につまずいて転ぶ。」

【4 / 12 時間目 指導略案】 使用するワークシート④

活動のねらい

前半の部分に、作者が何をどのように書いているかを読み取らせる。

1 学習計画表から本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。

- 「はじまり」と「出来事(事件)が起きる」部分を読んで、作者が何をどのように書いているかを調べさせる。

2 「はじまり」の部分を読み、書き方を考える。

- ① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

【発問】「はじまり」の部分には、どんなことが書かれているでしょう。

- ・ 三年とうげとよばれるとうげがあること
- ・ 三年とうげの様子
- ・ 三年とうげには、昔から言い伝えがあることなど

- 発表を黒板に整理し、作者は、物語が繰り広げられる「場」を紹介して書いていることをおさえる。

- ② どのように書かれているか、表現の工夫を考える。

・ 春には・・・がさきみだれ、秋には・・・が美しく色づきました。

- 美しいとうげのけしきを表す言葉。(色彩)

3 「出来事が起こる」部分を読み、書き方を考える。

- ① 何について書かれているか、文中の叙述を基に発表する。

- 作者は、中心人物が困るという設定を書いていることをおさえる。
- ② どのように書いているか、表現の工夫を考える。
- ・ 立つ上がる↓立ち上がる

- 複合語や人物の気持ちを表す顔つきや動作。

評価 前半の部分に、作者が何をどのように書いているかをワークシートに整理しながら読み取っている。

4 本時を振り返り、次時について知る。

- 次時は、後半の部分を読み取っていくことを確認する。